

会 議 要 旨

(1 / 3)

会議の名称	令和8年度第1回川越市立美術館協議会
開催日時	令和8年 5月29日(金) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時40分 閉会
開催場所	川越市立美術館会議室
議長(委員長・会長)氏名	青柳達雄 (副会長)
出席者(委員)氏名(人数)	吉岡知子、平井妙子、山崎仁之、 岡本雄司、山崎共子、内田孝尚、鳥海睦美 (8人)
欠席者(委員)氏名(人数)	山田誠次 (会長)
事務局職員職氏名	美術館 館長 山田明子 副館長 折井貴恵 副主幹 濱田千里
会議次第	1 開 会 2 委員紹介 3 職員紹介 4 正副会長の選出について 5 諮 問 6 議 事 (1) 令和7年度事業報告 (2) その他 7 閉 会
配布資料	1 令和8年度第1回川越市立美術館協議会次第 2 川越市立美術館協議会委員名簿 3 【資料1】川越市立美術館 令和7年度事業報告 4 【資料2】川越市立美術館データ表 5 【資料3】川越市立美術館特別展データ表(過去5年)

議 事 の 経 過

(1) 令和7年度事業報告

事務局より資料1について説明後、委員による詳細確認、質疑応答が行われた。議長からは、各委員の意見を参考にし運営に生かすよう指示があった。主な意見は以下のとおり。

■美術館展示 について

- ・アンケートの回答率、母数が少なすぎる。そのなかでもアンケートに記された「不満」の声は大事にするべき。
- ・アンケート回答率を増やすには、アンケートに記された意見を反映したことをアピールする、などはどうか。
- ・アンケート記入者にくじ引きの権利を与え、当たりは招待券、の実践例あり。
- ・アンケート回収率2%もやむをえないこと。忙しいなかでもアンケートを書いてくれた方の声は大事にするべき。
- ・2つの特別展の一日当たり観覧者数に大きな違いがあるのはなぜか。
[事務局]現代美術(冬期)は観覧者少なめの傾向があること、秋季展覧会会期中に3日の観覧無料日があることが大きい。

■教育普及 ■作品管理 ■刊行物 ■美術館施設利用

■美術館運営管理 について

- ・ジュニアアートスクエアの応募者数ばらつきについて。近年は9月の運動会はほぼなくなり、市内の小中学校については5月末・10月末に設定しているので参考にされたい。
- ・4校美術部展について。市外の高校にも出品してもらえばより広い範囲から注目を受けるのでは。
- ・ミュージアム×スクールについて。回数を重ねる、実施校数を増やす、などで希望校が増えてくると考えられる。
- ・空調修繕の状況について確認したい。
[事務局]令和7年度の空調修繕は、隔年実施のフィルター交換のほかは、部品交換による小規模の修繕だった。
- ・美術館主催の各種ワークショップを楽しんでいる。特に、作家から直接指導を受けられるのは美術館ならではの喜び。また、XやLINEでかなり頻繁に情報発信を行っており、興味を引いている。

議 事 の 経 過

- ・美術館として、来館者数を増やしたいのか、来館者数に関係なく意義ある展覧会をしていくのか、目的が見えづらい。来館者数を増やしたいのなら、若者向けのイラストレーション展をやるとか、こども向きワークショップの抽選漏れが出ないように回数を増やしてもいいのでは。
- ・目的とすると、来館者増であるだろう。多くの人に見てもらうのは大きな目的。とすると、4校美術部展の対象エリア拡大なども有効だろう。
- ・美術館見学の一番のメリットは、本物に触れられること。作家とのつながりがもてるとよいのでは。

(2) その他

事務局より、令和8年度の事業予定について、①展覧会 ②改修 ③美術品等取得基金 ④燻蒸 について説明後、委員による確認、意見等の発言があった。主なものは以下のとおり。

- ・作品取得のための寄付を集めてはどうか。「川越らしい」作品を展示し、もっと来館してもらおうようにしたほうがいい。「来たくなる美術館」にしていすべき。
- ・クラウドファンディングはできないのか。クラファンは、資金を集めるだけでなく、広告効果もある。また、note というアプリも有効だと言われている。

[事務局]クラウドファンディングは過去、市で実施した実績はある。note は市としては行っていない。

令和 8 年度 第 1 回川越市立美術館協議会次第

日 時 令和 8 年 5 月 2 9 日 (金)
午後 2 時 0 0 分～
場 所 川越市立美術館会議室

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 職員紹介
- 4 正副会長の選出について
- 5 諮 問
- 6 議 事
 - (1) 令和 7 年度事業報告
 - (2) その他
- 7 閉 会

※閉会后、学芸員による常設展展示解説を行います。
ぜひご参加ください。

川越市立美術館協議会委員名簿

任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

区 分		氏 名	推薦団体・役職	備考
関係団体	社会教育関係	青柳 達雄	川越美術協会・会長	4期 (R2-)
		吉岡 知子	埼玉県立近代美術館・主任学芸員	3期 (R4-)
	学校教育関係	平井 妙子	川越市校長会・会員 (川越市立大塚小学校校長)	1期 (R8-)
		山崎 仁之	埼玉県高等学校長協会 川越ブロック理事 (埼玉県立川越女子高等学校校長)	1期 (R8-)
		岡本 雄司	尚美学園大学 芸術情報学部 情報表現学科・教授	1期 (R8-)
	学識経験者	山崎 共子	川越商工会議所・常議員	4期 (R2-)
		山田 誠次	川越市障害者団体連絡協議会・会長	6期 (H28-)
	公募	内田 孝尚	公募	1期 (R8-)
鳥海 睦美		公募	1期 (R8-)	

敬称略

川越市立美術館 令和7年度事業報告

*資料中は敬称略

■美術館展示 特別展 *2 本実施

〈小江戸文化シリーズ〉6 勝田蕉琴展

明治末から昭和にかけて官展で活躍した日本画家・勝田蕉琴(1879-1963)の回顧展。蕉琴は福島県棚倉町出身であるが、川越とも縁が深い。福島県立美術館での展覧会以来 27 年ぶりとなった本展では、近年発見された作品など新知見を交えて、改めて画業の全容に迫った。

会期 令和7年10月25日(土)~12月7日(日)(開館日数39日)

主催 川越市

助成 芸術文化振興基金

後援 朝日新聞さいたま総局、埼玉新聞社、産経新聞さいたま総局、時事通信社さいたま支局、東京新聞さいたま支局、日本経済新聞社さいたま支局、毎日新聞埼玉西支局、読売新聞さいたま支局、NHKさいたま放送局、J:COM東上・川越、テレ玉、FM NACK5

観覧料 一般:700円(560円) / 大学生・高校生:350円(280円) / 中学生以下:無料

* ()内は20人以上の団体料金

*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳、障害者手帳アプリ「ミライロ ID」をご提示の方、及び付き添いの方1人は無料

*「川越きもの日」にちなみ、8日、18日、28日に着物で来館された方は2割引き

*「パパ・ママ応援ショップ優待カード」をご提示の方、及び高校生以上の家族全員の観覧料を2割引き

*11月14日(県民の日)、12月1日(市民の日)、12月7日(12月第1日曜日)は無料観覧日

観覧者数 4,417人(約110人/日) *内覧会及び教員職員鑑賞会参加者を含む

広告:Instagram、Facebookに広告配信 10月25日~11月4日(11日間)

関連事業 ●開会式/内覧会

日時:10月24日(金)

午前2時~2時15分(開会式) 午後2時20分~4時(内覧会)

人数:51人

●教員職員鑑賞会

日時:10月24日(金) 午後6時30分~7時30分

参加費:無料

人数:8人

●講演会「勝田蕉琴をめぐる視座」

講師:堀宜雄氏(福島県立美術館専門員)

日時:11月1日(土) 午後2時~午後3時30分

参加費:無料

人数:52人

●こども鑑賞会 しょうきんさんの絵をみんなで見よう

日時:11月3日(月・祝) ①午前11時~11時45分 ②午後2時~2時45分

参加費:無料(保護者は要特別展観覧料)

対象・人数:小学生以下(未就学児童は保護者同伴)・①10人 ②中止(申込無しのため)

●初心者のための実技講座「絹に日本画を描く」

講師:川上椰乃子氏(日本画家)

日時:11月8日(土) 午前10時~午後4時

参加費:3,000円

対象・人数:中学生以上・9人(定員10人)

●クイズに答えて蕉琴の缶バッジを作ろう

日時:①11月14日(金) ②12月1日(月) 各日午前10時~午後4時

参加費:200円

人数:①49人 ②49人

●担当学芸員によるギャラリートーク

日時:①11月16日(日) ②11月29日(土) *②は手話通訳つき

各日午後2時~2時50分

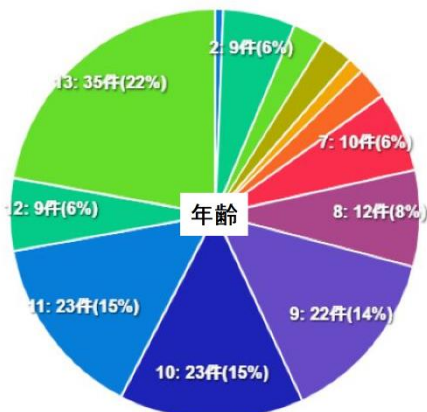
参加費:無料(要特別展観覧料)

人数:①13人 ②11人

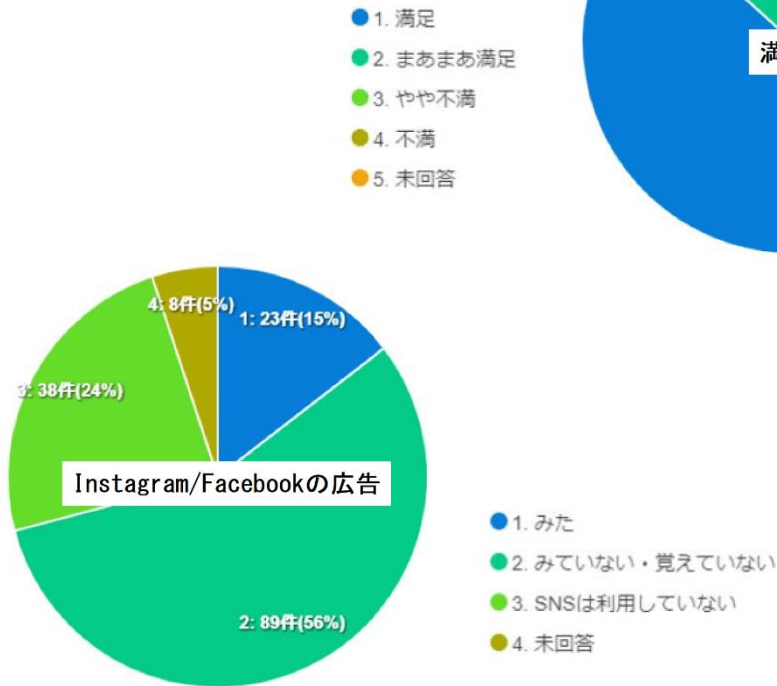
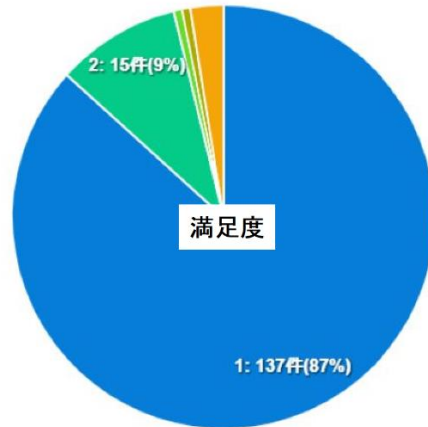
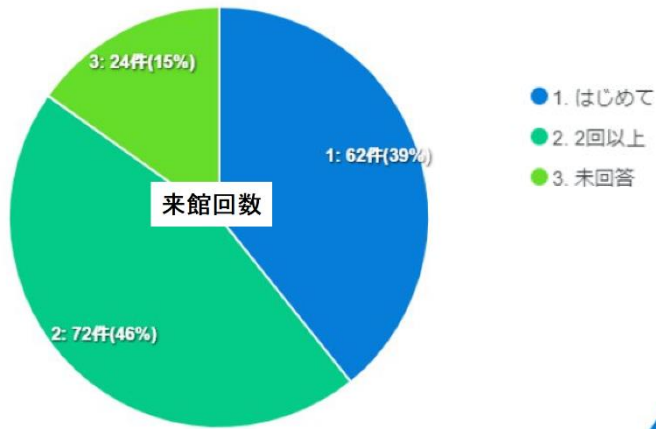
アンケート回収数: 158(回答率 3.5%)



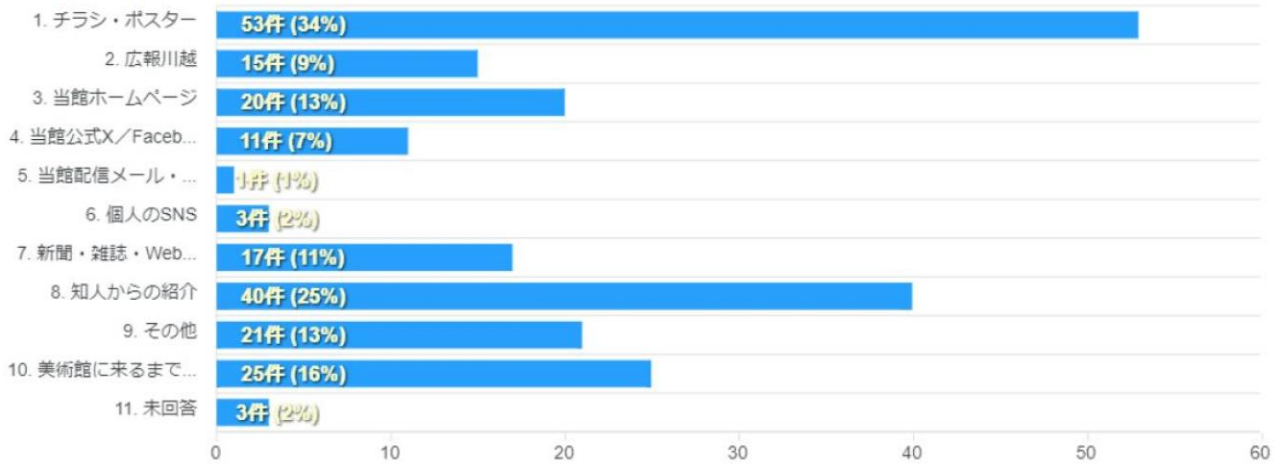
- 1. 川越市内
- 2. 川越市外
- 3. 未回答



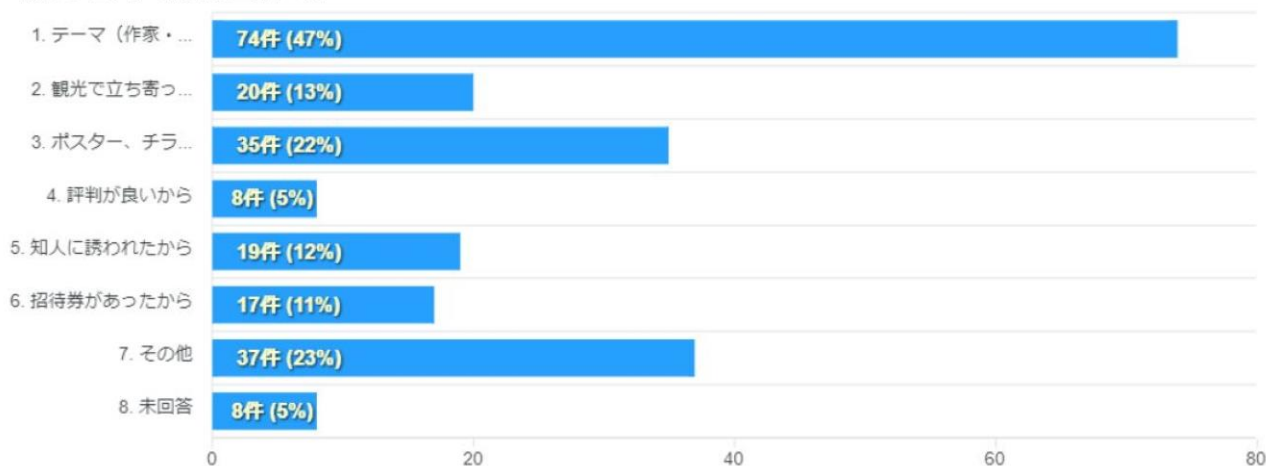
- 1. 小学生
- 2. 中学生
- 3. 高校生
- 4. 大学生・専門学校生
- 5. 一般 (10代)
- 6. 一般 (20代)
- 7. 一般 (30代)
- 8. 一般 (40代)
- 9. 一般 (50代)
- 10. 一般 (60代)
- 11. 一般 (70代)
- 12. 一般 (80歳以上)
- 13. 未回答



本展を知った方法（複数回答可）



見た理由（複数回答可）



主な感想 抜粋

- ・勝田蕉琴さんの事も知らなかったのですが、川越ゆかりという展覧会を催してくれたお蔭で知る事が出来ました。この美術館で知れた芸術家が私にとっては多く嬉しいです。
- ・絵の解説も分かりやすく丁寧で、作品選びも良く、素晴らしかったです。
- ・大変分かり易い構成で、作家の業績を概観出来ました。世間的にはあまり名の知られていない作家にこの様に丁寧に向き合って下さり感謝しています。チラシやカタログも美しく、大切に保管したいと思います。
- ・アクリル板で見にくい部分がある 仕方ないとは思いますが、何か工夫できると良いと思います。

担当の所見

- ・過去2年の同時期開催の特別展と比較して、来館回数が「2回以上」の割合が高かった。「市外」の割合も高めである。また、展覧会を知った方法として「知人からの紹介」が多いのも特筆すべきである。以上から推測するに、首都圏在住で、当館へ過去に足を運んだことがある、熱心な美術ファンが主な来場者層だったと言えるだろう。
- ・本企画は収入面では厳しい結果だったと言わざるをえないが、川越ゆかりの作家を紹介する「小江戸文化シリーズ」が、当館らしい企画展として周知されつつあることも分かった。
- ・勝田蕉琴について、展覧会の開催を通じて、川越との関係を裏付ける情報を数多く収集できた。今後も川越ゆかりの作家として顕彰を続けていきたい。

〈タッチアート〉その後の彫刻 4 人展—原透、佐藤忠、高梨裕理、塩谷良太

当館のタッチアートコーナーに展示経験のある作家のなかから素材ごとに 4 人を選び、タッチアートコーナーでの展示以降の新作を含めた作品を展示した。彫刻家・原透(1959-)は、鋭さの光る作品〈切光〉シリーズを石または木で、金属を扱う彫刻家・佐藤忠(1966-)は、鉄からステンレスへと素材を変え、不安と希望をテーマに、しなやかで象徴的な人物像の作品を提示した。彫刻家・高梨裕理(1970-)は、木に寄り添い素材を活かしつつダイナミックな作品を展示した。造形作家・塩谷良太(1978-)は、陶ならではの制作工程を含む造形の「仕組み」を意識した視点から、これまでと異なる切り口で新シリーズを発表した。いずれの作家も触れて鑑賞できる作品を含めて出品した。

会期 令和 8 年 1 月 31 日(土)～3 月 22 日(日)(開館日数 44 日)

主催 川越市立美術館

観覧料 一般 700 円(560 円) / 大学生・高校生 350 円(280 円) / 中学生以下無料

* () 内は 20 人以上の団体料金

* 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳、障害者手帳アプリ「ミライロ ID」をご提示の方、及び付き添いの方 1 人は無料

* 「川越きものの日」にちなみ、8 日、18 日、28 日に着物で来館された方は 2 割引き

* 「パパ・ママ応援ショップ優待カード」をご提示の方、及び高校生以上の家族全員の観覧料を 2 割引き

観覧者数 2,321 人(約 51 人/日) ※内覧会および教員職員鑑賞会参加者を含む

広告: Instagram、Facebook に広告配信

1 月 31 日～2 月 4 日(5 日間) / 2 月 19 日～23 日(5 日間)

関連事業 ●開会式および内覧会

日時: 1 月 30 日(金) 午後 3 時～5 時

人数: 55 人

●ワークショップ

①「レリーフを彫ってみよう」

内容: 4 cm 厚の楠の板を彫って浮き彫りに挑戦した。

講師: 高梨裕理(彫刻家)

日時: 2 月 7 日(土) 午前 10 時～午後 3 時

参加費: 1,000 円

人数: 一般 8 人(定員 8 人)

②「石を彫ってみよう」

内容: 抗火石を彫る体験をした。

講師: 原透(彫刻家)

日時: 2 月 11 日(水・祝) 午前 10 時～午後 3 時 30 分

参加費: 2,000 円

人数: 小学 5 年生以上 8 人(定員 10 人)

③「アルミ線であなたの花を作る」

内容: アルミ線を手やペンチで曲げてオリジナルの花を作った。

講師:佐藤忠(彫刻家)

日時:2月15日(日) 午後1時~4時

参加費:1,000円

人数:中学生以上10人(定員10人)

④「粘土で自分より大きいものを作ろう」

内容:粘土を子ども一人につき30kg、大人一人につき50kgを用意し、自分の背丈よりも大きいものを作ることに挑戦した。

講師:塩谷良太(造形作家)

日時:3月8日(日) 午後1時~3時

参加費:1,000円

人数:小学3年生以上10人(定員10人)

● 出品作家によるアーティストトーク

日時: ①3月1日(日) ②3月7日(土)

①午後2時~2時45分 原透

①午後2時45分~3時30分 高梨裕理

②午後2時~2時45分 佐藤忠

②午後2時45分~3時30分 塩谷良太

参加費:無料

人数:① 23人 ② 32人

● 担当学芸員によるギャラリートーク

日時:3月15日(日)午後2時~2時40分 *手話通訳付き

参加費: 無料

人数:10人

● 教員・職員鑑賞会

日時:2月6日(金) 午後6時30分~

対象:教員及び川越市職員

人数:6人

● パネルディスカッション「その後の彫刻」

登壇者:原透、佐藤忠、高梨裕理、塩谷良太

司会:担当学芸員

日時:3月20日(金・祝) 午後2時~4時

費用:無料

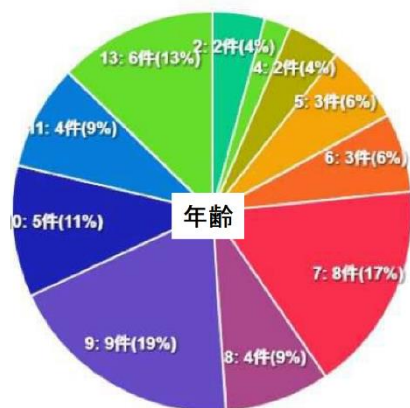
人数:34人

アンケート回収数: 47(回答率 2%)



- 1. 川越市内
- 2. 川越市外
- 3. 未回答

- 1. 小学生
- 2. 中学生
- 3. 高校生
- 4. 大学生・専門学校生
- 5. 一般 (10代)
- 6. 一般 (20代)
- 7. 一般 (30代)
- 8. 一般 (40代)
- 9. 一般 (50代)
- 10. 一般 (60代)
- 11. 一般 (70代)
- 12. 一般 (80歳以上)
- 13. 未回答

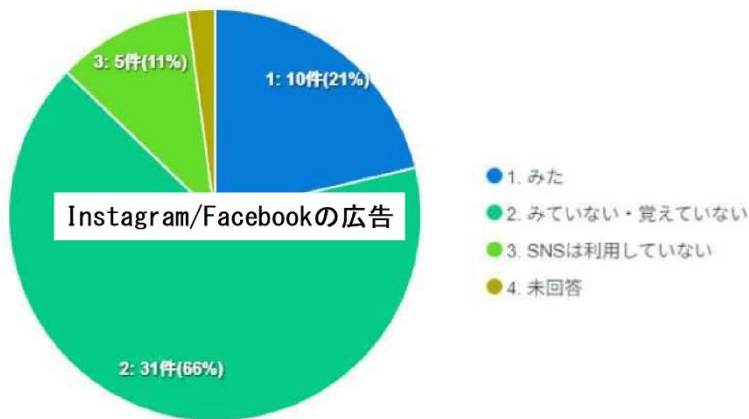
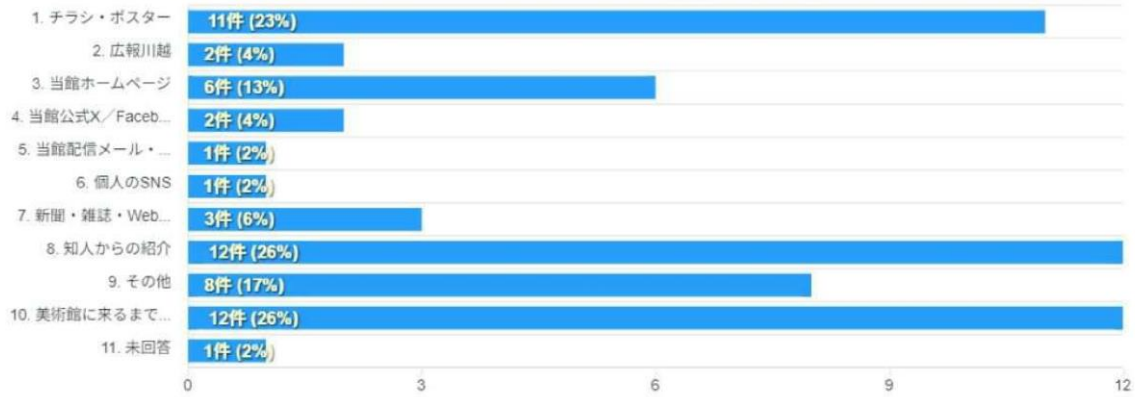


- 1. はじめて
- 2. 2回以上
- 3. 未回答

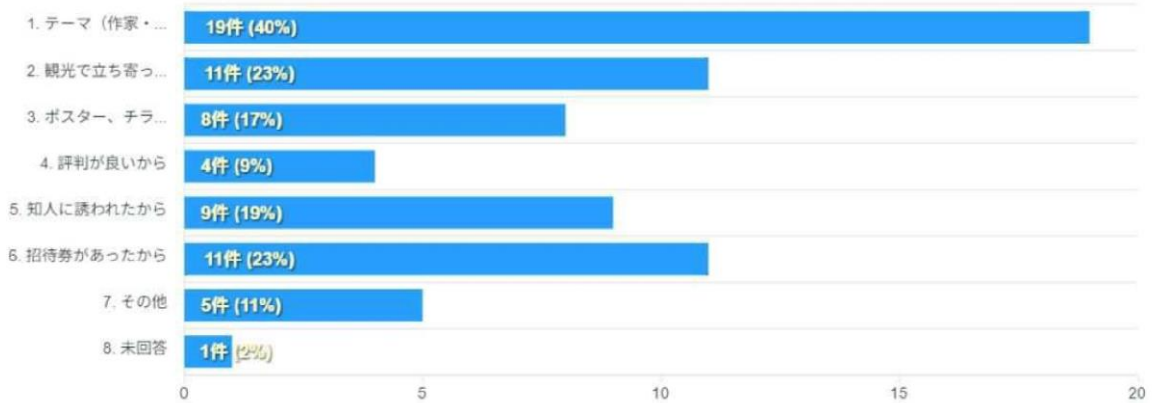
- 1. 満足
- 2. まあまあ満足
- 3. やや不満
- 4. 不満
- 5. 未回答



本展を知った方法



見た理由



主な感想 抜粋

- ・基本的に、美術館の展示作品はガラス越し、柵越し等で触れてはいけないものなので、多くの作品に直接（物によっては素手で）触れられるという体験はとてもワクワクしました。
- ・以前から、タッチアートコーナーもとても好きで注目していたので、その先に今回のような企画展があるというのも良い流れを感じられました。
- ・触れることができるというのは珍しい展覧会だった。見るだけとは違い、新鮮でかつ懐かしいような感覚があった。触れることのできる作品を多く展示する企画展はぜひまたやって欲しい。
- ・タッチアート展は初めてお目にかかりました。作品を直接触らせて頂けて、とても興味深く芸術に関わらせて頂きました。360度見てまわれるので、違う顔がたくさんうかがえる作品ばかりで面白かったです。
- ・展示室の規模を考えると仕方ないのかもしれませんが、作品数（触れられないものでもいいので）がもっとあったらより見応えがあったかと思います。

担当の所見

- ・助成金に申請したものの、不採択だったため節約しながら準備をせざるを得なかった。
- ・触れる作品があるだけに、作品事故の危険性を心配していた。エントランスで転んで作品にぶつかった人がいたことや、屋外作品に犬のオシッコのようなものをされてしまったアクシデントはあったものの、作品保険を使うような事態に至らず何よりだった。
- ・これまでもタッチアート展を実施したことがあるが、近年、ユニバーサルミュージアムの考え方の広まりから、関心が高まっているように感じた。『点字毎日』に本展が紹介されたこともあり、白杖を持つ人の来館報告が現場からそれなりにあった。
- ・当館の特色であるタッチアートコーナーの趣旨を活かした展覧会となった。23年間の当館の活動をこの面において振り返り、活用することができた。今回のアンケートの声を今後の同様な展示に活かしていきたい。

■美術館展示 常設展(常設展示室 + 相原求一郎記念室)

第1期 川越ゆかりの作家たち + 相原求一郎の画業Ⅰ

令和7年3月26日(水)～6月22日(日)

川越出身または在住など、川越にゆかりのある作家たちの作品を集めて一堂に展示した。岩崎勝平の洋画、小茂田青樹や小泉智英の日本画、河鍋暁斎や内田静馬の版画、橋本次郎や田中毅の彫刻を紹介した。

第2期 生誕120年 岩崎勝平 + 相原求一郎の画業Ⅱ

令和7年6月26日(木)～9月15日(月・祝)

生誕120周年を祝して岩崎勝平特集とした。東京美術学校卒業後の春台美術展初入選作品以降の出品画を中心に展示し、あわせて最晩年の《病院生活の思ひ出》を特集した。

第3期 The 日本画—橋本雅邦・小茂田青樹を中心に + 相原求一郎の画業Ⅲ

令和7年9月18日(木)～12月14日(日)

秋季特別展「勝田蕉琴展」と開催時期が重なったため、特別展観覧者に当館の日本画コレクションを知っていただく意図で、川越ゆかりの橋本雅邦・小茂田青樹を中心とした日本画を特集とした。

第4期 コレクションいろいろランキング + 相原求一郎の画業Ⅳ

令和7年12月23日(火)～令和8年3月22日(日)

「いちばん大きな作品／小さな作品は?」「いちばん貸し出すことが多い作品は?」「いちばん新しい作品／古い作品は?」「最近修復した作品は?」「一風変わった作品は?」「イチオシの作品は?」の各設問に沿って、収蔵品をランキング形式で紹介した。

■美術館展示 タッチアートコーナー

第1期 ふれてみて 作品のふしぎ

令和7年3月26日(水)～6月22日(日)

第2期 指の温度 小林花子展

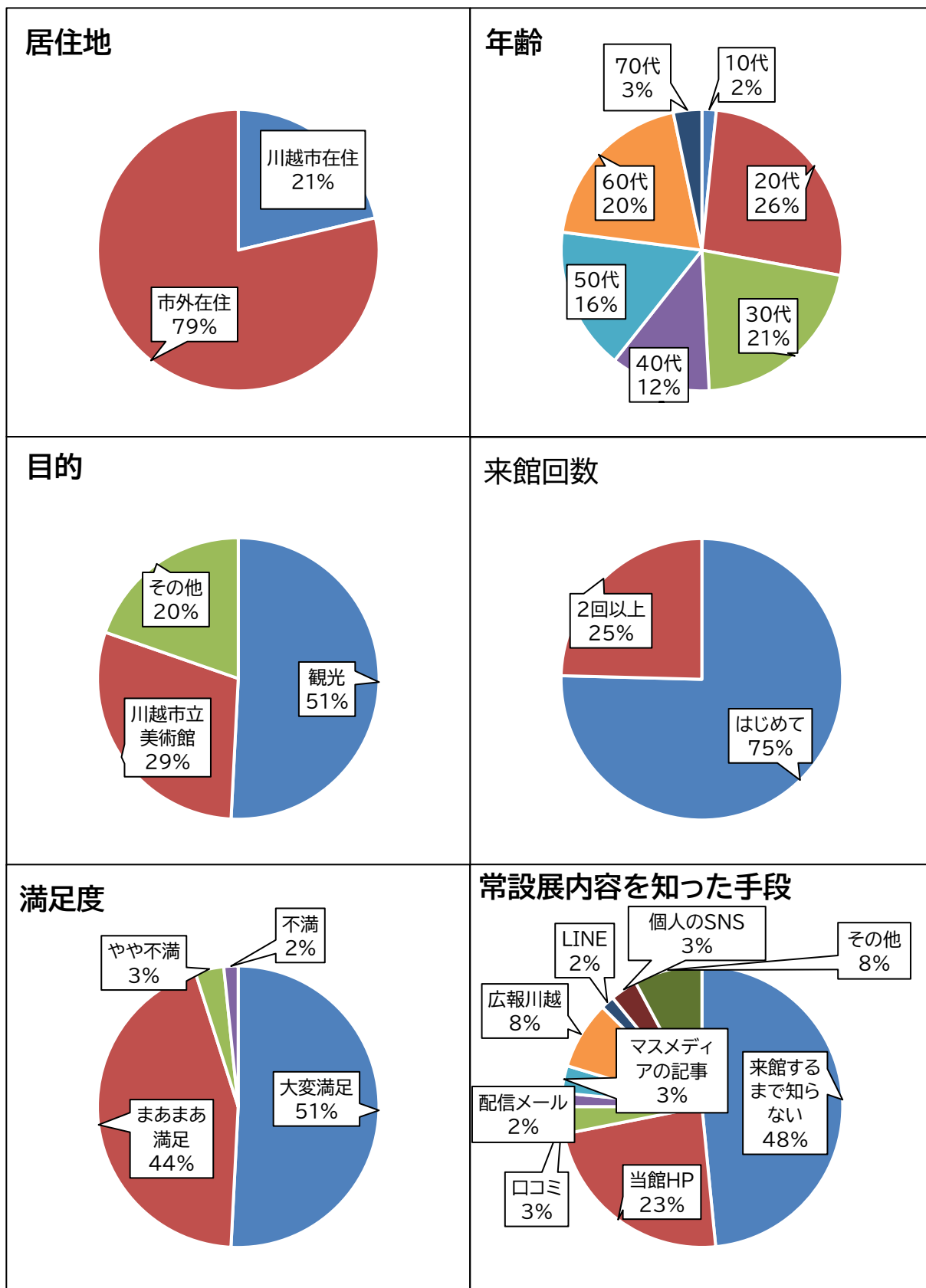
令和7年6月26日(木)～9月15日(月・祝)

第3期 長谷川さち展 原初の水

令和7年9月18日(木)～12月14日(日)

第4期 梶浦聖子展 手で感じる光と影

令和7年12月23日(火)～令和8年3月22日(日)



主な感想 抜粋

満足の声

- ・「どう見ると面白いのか」をこどもにしっかりとガイドする、素晴らしいワークシートだと感じた。
- ・小さな子や、美術に詳しくない人でも楽しめるような取り組みがあってよかった。
- ・キャプションに関して、気になることを質問させていただきましたが、丁寧に答えてくださり、ありがとうございました。
- ・コンパクトながら落ち着いた館内で、非日常的な時間を過ごせました。
- ・前から、一度来たいと思っていました。今回観覧出来、コンパクトな展示で良いと思いました。
- ・いろいろなタイプの作家のそれぞれの時代での活動や作品は、個性があり楽しめました。ゆっくり見られました。
- ・川越市ゆかりの画家さんにこんな素晴らしい画家さんがいることを知り感動しました。図録も買い求めました。絵の好きな友人にも見せます。
- ・川越市出身の作家の日本画、油画、版画、立体作品それぞれの作品がバランスよく鑑賞できました。今も活躍している作家の作品から 20 世紀に活躍した作家の物まで展示されており、作風の違いも楽しめて充実していました。
- ・相原氏の作品を観に伺いました。今回も大変良い時間を過ごさせていただきました。
- ・久しぶりにゆっくりと鑑賞させて頂き、豊かな時間と共に感謝です。出来上がった作品も然る事ながら、至るまでの過程が興味深く、どの道も大変だなと痛感しました。
- ・春らしい桜の展示が良かったです。またカエルの可愛い銅像にも癒されました。全て含めて 200 円であったことにも満足しています。
- ・落ち着いて自分のペースで見ることができた。春先の北海道を描いた相原求一郎の絵は好きです。
- ・相原求一郎を今回の常設展で初めて知った。絵の感じも大変好みで、また観に来たいと思った。加えて、彼が師事したという猪熊弦一郎について、偶然にも猪熊弦一郎現代美術館(香川県)を近々訪れる計画をしていたので、嬉しく思った。

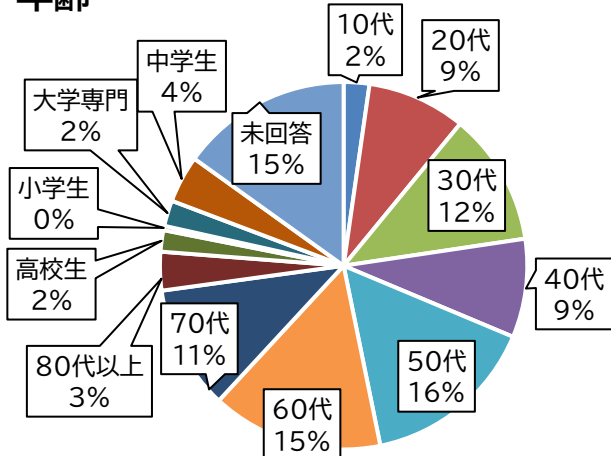
不満の声

- ・ガラスに照明が反射して見にくい部分があったので、改善していただけると嬉しいです。
- ・絵画の場所となった所在地(例えば、北海道〇〇市)などまで記載されてると良いと思いました。
- ・定期的に作品の展示を変えている・・・どの部分を展示しているのか、わかりにくい(学芸員の方に聞いてわかった)。人が多いと聞くことができないと思うので、もう少し分かりやすくしてほしい。
- ・静かに見なければならぬ。
- ・ワークシートで間違えても、消しゴムは使っちゃいけない。
- ・もう少し作品があれば良かった。
- ・200 円の価値はないです。
- ・印象深い作品が多いが点数自体が少ない。スペースの問題があるかもしれないが、絵画以外の作品など点数を増やせばもっと有意義な時間が増え、来館者も増えるのではないかと、思いました。

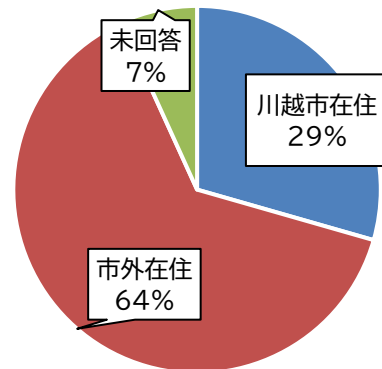
希望する特別展 *複数回答可

項目	回答数	割合	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
川越(地域)に関連がある	106	20%	9	9	15	9	16	17	14	3
川越(地域)にこだわらず多様に	103	20%	10	8	12	8	16	20	11	3
美術史上重要な作家や作品	73	14%	8	5	5	7	10	8	14	3
現在進行形の新しい作家や作品	72	14%	7	8	9	7	13	11	9	0
こどもと一緒に楽しめる	29	6%	6	3	7	5	2	2	3	1
他館ではやらないような	69	13%	6	8	13	6	11	12	5	2
小江戸らしい	57	11%	7	8	4	5	9	9	5	1
その他	15	3%	1	1	1	1	2	2	2	1

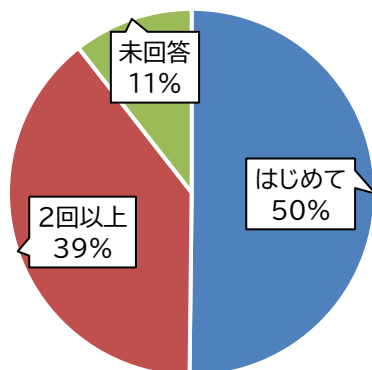
年齢



居住地



来館回数



・希望する特別展では、「川越関連」と「川越にこだわらず多様な」特別展を希望する声と同じ割合が多い。

・年齢では、大きな偏りなく、幅広い世代に回答いただいたことがわかる。

・居住地は市外が6割以上であるが、常設展のみの集計だと8割近いため、常設展には観光目的の市外の来館者が多いと推測できる。

・来館回数は初めてが50%であり、常設展のみの集計だと75%である。特別展にリピーターが一定数いると推測できる。

■教育普及 講座・ワークショップ等

●ジュニアアートスクエア(小学生対象)

第4土曜日に開催するワークショップ(原則:定員20人・抽選)。

月	日	タイトル	内容・備考	費用	人数 (応募)
4	26	えのぐであそぼう	デカルコマニーや吹き流しなど、水彩絵の具で偶然できる模様を楽しみながら、ふしぎな絵を描く。	100円	19 (47)
5	24	新聞紙のかたまりをたくさんつなげよう	テープで新聞紙や画用紙のハギレで塊を作って繋げ、大きな立体造形作品を作る。(会場:アートホール)	100円	19 (29)
6	28	セロハンで光に透けるオブジェを作ろう	黒い画用紙とセロハンを使って、光に透かして楽しめるステンドグラス風の作品を作る。	100円	19 (66)
7	26	かつひらさんに挑戦！人物クロッキー	常設展第2期「生誕120年 岩崎勝平」に関連して、岩崎が得意とした人物画(クロッキー)を描くことに挑戦する。	100円	16 (17)
8	23	新聞紙ねんどでグジャグジャ	細かくした新聞紙とでんぷんのりを混ぜて「新聞紙ねんど(紙ねんど)」を作り、自由に造形する。 対象:4歳~小学生(未就学児童は保護者同伴) 定員:15人	100円	13 (29)
10	25	『私の鳥』缶バッジを作ろう	特別展「勝田蕉琴展」で絵の中の鳥を探す活動をしたあと、模写をもとに描いた鳥の絵を缶バッジにする。	100円	16 (20)
11	22	●●な鳥の巣を作ろう	特別展「勝田蕉琴展」の展示作品《安らかなる鳥の巣》にちなみ、紙、糸などを使って、自由な形の鳥の巣を作る。	100円	18 (24)
12	27	紙やねんどでパーティーのごちそう作り	新聞紙や紙ねんどで、食べてみたい「ごちそう」を作る。最後に全員の作品を並べて、豪華な食卓のようにする。	100円	19 (43)
1	24	紙ぶくろでかぶりものを作ろう	使い古しの紙袋に細工やデコレーションをして、帽子やお面などのかぶりものを作る。	100円	13 (16)
2	28	絵の具を作って描こう	天然の土などから絵の具を作ったり、メディウムで質感を変えてみたりして、絵の具の世界を広げる。	100円	20 (44)
合計					172 (335)

●アートスクエア(大人まで対象)

月	日	タイトル	内容・対象・備考	費用	人数 (応募)
9	27	川越唐棧の糸掛け曼荼羅を作ろう	川越唐棧の糸を、あらかじめ用意された台紙の切り込みに引っ掛け渡していき、「糸掛け曼荼羅」を作る。 対象:小学生~大人 協力:川越唐棧手織りの会	100円	20 (78)
3	28	春休みのミニアトリエ2026	美術館の展示や講座の廃材を使って、自由に造形する。 対象:5歳~大人(未就学児童は保護者同伴) 定員:各回16人(同日2回開催)	100円	24 (30)
合計					44 (108)

●金沢健一 延長線上のマリオネット3 ひとつひとつがたの間

川越にアトリエを構える彫刻家・金沢健一(1956-)との共催で、展示・ワークショップ・パフォーマンスを通して体験的な作品鑑賞の在り方を提示する、2006 年から継続的に実施している教育普及事業。今回は、数年来取り組んでいるマリオネットの作品を、展示空間にあわせてインスタレーション的な展示とした。また、「身体」を考察するにあたり過去作品である《パフォーミング・チェアー》も出品された。

主催:金沢健一

共催:川越市立美術館

会期:8月5日(火)~24日(日)

観覧者数:2,291人

関連事業

事業名	日時	内容・講師・対象	費用	人数
ワークショップ 「音のかけらを作る」	8月11日(月・祝) 午前10時~午後3時	直径35cmの鉄板を熔断して《音のかけら》を制作し、できた作品の音を参加者との演奏をとおして共有する。 講師:金沢健一 小学4年生以上・定員10人	4,000円	7人
ダンスパフォーマンス 「ひとつひとつがたの間」	8月16日(土) 午後3時~4時	ダンサーが「ひとつひとつがたの間」をテーマに踊る。 講師:鈴木ユキオ(振付家・ダンサー)	無料	73人
ワークショップ 「ひとつひとつがたの間」	8月17日(日) 午前10時~正午	動きのワークショップ。丁寧に身体を感じるころから始め、少しずつ動きに繋げる。 講師:鈴木ユキオ(振付家・ダンサー) 小学4年生以上・定員10人	1,000円	7人
ワークショップ 「抽象の方法論—デフォルメ(変形)された人間像」	8月23日(土) 午後1時30分~3時30分	紙や木、針金などを使って人間を描いたり作ったりする造形ワークショップ。 講師:金沢健一 小学4年生以上・定員10人	1,000円	3人
トーク&デモンストレーション	8月9日(土) 午後2時~3時	展示作品の解説とデモンストレーション。 講師:金沢健一	無料	14人
	8月24日(日) 午後2時~3時		無料	27人

●ワークショップ「夏休みのアトリエ」

美術館で用意した材料(廃材)で、自由に造形する。

日時:8月9日(土)~11日(月・祝) 各日 ①午前10時~正午 ②午後2時~4時

参加費:100円(材料費)

対象・人数:どなたでも(未就学児童は保護者同伴)・108人(定員120人)

●ワークショップ「指で押して跡をつける小さな本をつくろう」 *タッチアートコーナー関連事業

和紙に記録したいモノの凹凸の跡をつけ、製本して冊子にする。

講師:小林花子(彫刻家)

日時:8月30日(土) 午前10時~午後1時

参加費:800円(材料費)

対象・人数:小学3年生~大人・10人(定員12人)

●ワークショップ「石粉粘土でかわいいマグネットを作ろう」

石粉粘土で、動物やオリジナルキャラクターのマグネットを作る。

講師:下藺絵里(造形作家)

日時:3月14日(土) 午前10時~正午

参加費:600円(材料費)

対象・人数:小学3年生~中学生・15人(定員16人)

●常設展鑑賞プログラム「集まって、え・み〜る」(各期2回実施)

第1期	4月27日(日)	8人	5月31日(土)	8人
第2期	7月19日(土)	11人	8月16日(土)	9人
第3期	10月5日(日)	9人	11月22日(土)	9人
第4期	1月12日(月祝)	7人	2月22日(日)	5人

●アートホールでの「北の情感 相原求一郎の風景」(19分)の上映

期間:6月26日(木)~9月15日(月・祝) ※別事業でアートホールを使用する日を除く56日間

人数:1378人

●ワークショップ「ミニ灯籠を作ろう」(博物館共催事業)

博物館の「夏休み子ども体験」の一環。午前中は博物館で灯籠を制作、午後は美術館で絵を描き、最後に灯りをともして鑑賞する。日時:8月7日(木)午後1時30分~3時30分

参加費:400円(材料費・博物館で徴収)

対象・人数:小学生(小学2年生以下は保護者同伴)・19人(定員20人)

●事業協力

ふるさと塾 2025年度第2回講座 (文化芸術振興課・川越シニア大学「小江戸塾」)	7月23日(水) 講義「川越にゆかりの芸術家」	29人
第21回川越市少年の翼事業 (こども育成課)	7月31日(木) 相原求一郎記念室の展示解説	48人
姉妹・友好都市央公式使節団受入事業 (国際文化交流課)	10月19日(日) 常設展解説、自由見学	7人
「ゆう遊学級」 (北公民館)	11月12日(水) 講義「特別展「勝田蕉琴展」について」	62人
令和7年度中札内村中学生川越市訪問交流事業 (国際文化交流課)	1月9日(金) 相原求一郎記念室の展示解説、館内自由見学	10人

■教育普及 学校連携事業

立正大学経営学部授業連携	川村ゼミによる課題解決プロジェクト 中間報告 6月 最終発表 7月	11人
令和7年度 教育課程に位置づけたバス利用による博物館・美術館活用 (市立小学6年生バス見学)	6月～10月(19日間)・常設展示室、相原求一朗記念室 の鑑賞授業 主催:川越市教育委員会	32校
博物館実習	7月29日(火)、31日(木)、8月1日(金)、4日(月)、8日(金)、9日(土) または11日(月祝) (6日間)	4人
川越市立小学校・中学校初任者研修会	8月19日(火) 主催:川越市立教育センター	70人
川越市立中学校美術部展	8月20日(水)～24日(日) 市民ギャラリー、アートホール 市立中学校22校参加・出品数442点	1,171人
ミュージアム×スクール	12月11日(木)・城南中学校 2年生 派遣作家:長谷川さち(彫刻家)	185人
	1月27日(火)・埼玉県立特別支援学校塙保己一学園 中学部/高等部普通科 派遣作家:梶浦聖子(美術家)	38人
尚美学園大学学芸員課程「博物館情報 メディア論」見学プログラム	12月14日(日)	6人
埼玉県立川越高等学校、埼玉県立川越 女子高等学校、埼玉県立川越工業高等 学校、川越市立川越高等学校 4校美術部展	1月10日(土)～12日(月祝)・市民ギャラリー 主催:4校美術部展実行委員会 共催:川越市立美術館	414人
川越市立小・中学校児童生徒 県特選受賞作品展	2月20日(金)～23日(月祝)・アートホール 小学校32校・中学校22校参加・出品数166点	738人
川越市中学生社会体験事業の受け入れ	各校2日間 (川越第一中学校、鯨井中学校、芳野中学校)	6人
埼玉アートカードの貸出	小学校9校、中学校4校	13件
「ハロー！ミュージアム」配布	年度当初に市内小学校全児童に配布。持参して4季来館 した児童にパーフェクト賞授与。	のべ49人 完遂4人

■教育普及 Kart サポートスタッフ

登録者数:50人

活動回数:123単位

活動内容:美術館主催の教育普及事業補助、展覧会看視、特別展関連事業補助、印刷物発送作業補助、図書資料整理補助など。令和7年度から「教育課程に位置づけたバス利用による博物館・美術館活用」で鑑賞の先導役を務める「相原求一朗記念室 鑑賞ファシリテーター」、タッチアートコーナーで不定期に鑑賞補助を行う「タッチアート コミュニケーター」の活動を開始。

■教育普及 その他

・川越市立美術館公式HP

- ・川越市立美術館公式X(旧 twitter)・Facebook の発信
- ・メール配信サービス／川越市公式 LINE

■作品管理

●作品取得

購入(基金)1 件、寄贈5件(10 点)

●美術品外資料取得

0件

●作品修復

森脇雲溪 《松上双鶴図》 1940年
河内雅溪 橋本雅邦《波涛図》模写 制作年不明

●作品貸し出し

・「コレクションを中心とした特集 記録をひらく 記憶をつむぐ」
東京国立近代美術館 令和 7 年 7 月 15 日～10 月 26 日

種別	作家名	作品名	制作年	材質技法
洋画	岩崎勝平	薬水を汲む	1941(昭和 16)	キャンバス、油彩

・「川越の地口行灯——力齋とうろう絵の世界ふたたび——」
川越市立博物館 令和 7 年 7 月 19 日～9 月 28 日

種別	作家名	作品名	制作年	材質技法
日本画	小村雪岱	矢田挿雲「忠臣蔵」第 154 回挿図原画	1936(昭和 11)	紙本墨画
日本画	小村雪岱	矢田挿雲「忠臣蔵」第 894 回挿図原画	1938(昭和 13)	紙本墨画

・「野島康三と斎藤与里 ——美を掴む手、美を興す眼」
埼玉県立近代美術館 令和 7 年 11 月 1 日～令和 8 年 1 月 18 日

種別	作家名	作品名	制作年	材質技法
洋画	斎藤与里	芍薬	1933(昭和 8)	キャンバス、油彩

・「白の魔法 ——モネ、大観も使った最強の色——」
ひろしま美術館 令和 7 年 12 月 13 日～令和 8 年 3 月 22 日

種別	作家名	作品名	制作年	材質技法
洋画	相原求一朗	白い建物と舟	1972(昭和 47)	キャンバス、油彩
洋画	相原求一朗	冬陽淡く	1991(平成 3)	キャンバス、油彩

・「密やかな美 小村雪岱のすべて」

あべのハルカス美術館 令和 7 年 12 月 27 日～令和 8 年 3 月 1 日

種別	作家名	作品名	制作年	材質技法
日本画	小村雪岱	唐津くんち	1907(明治40)頃	紙本着色
日本画	小村雪岱	白衣観音	1937(昭和12)頃	絹本墨画金泥
日本画	小村雪岱	如意輪観音	1939(昭和14)	絹本墨画金泥
日本画	小村雪岱	牡丹に羅陵王の図〔仮題〕		紙本着色
日本画	小村雪岱	蓮華		絹本着色
日本画	小村雪岱	太刀の図		紙本着色
素描	小村雪岱	子母澤寛「突っかけ侍」第72回挿絵下図	1934(昭和9)	紙、墨
素描	小村雪岱	邦枝完二「江戸役者」第6回挿絵下図	1932(昭和7)	紙、墨・鉛筆
版画	(小村雪岱関係)	「筆者不詳地天像之一部」校合摺		紙、木版
素描	小村雪岱	陽炎		紙、鉛筆・墨
日本画	小村雪岱	矢田挿雲「忠臣蔵」第792回挿絵原画	1938(昭和13)	紙本墨画
日本画	小村雪岱	矢田挿雲「忠臣蔵」第823回挿絵原画	1938(昭和13)	紙本墨画
日本画	小村雪岱	矢田挿雲「忠臣蔵」第733回挿絵原画	1938(昭和13)	紙本墨画
日本画	小村雪岱	矢田挿雲「忠臣蔵」第247回挿絵原画	1936(昭和11)	紙本墨画
版画	小村雪岱	春雨	1944(昭和19)頃	紙、多色木版
版画	小村雪岱	おさん茂兵衛	1941(昭和16)	紙、多色木版
版画	小村雪岱	夜雨	1944(昭和19)頃	紙、多色木版
日本画	小村雪岱	蝶	1925(大正14)	絹本着色
資料		『苦業』大正15年7月号	1926(大正15)	
資料	小村雪岱	泉鏡花『鴛鴦帳』見返し(オモテ)	1918(大正7)刊行	木版、紙
資料	小村雪岱	泉鏡花『鴛鴦帳』見返し(ウラ)	1918(大正7)刊行	木版、紙
資料	小村雪岱	(かきつばた)(『処女の友』表紙原画 第13巻第5号か)	1930(昭和5)か	紙、彩色
資料	小村雪岱	雨晴れて(『処女の友』昭和5年6月号表紙原画)	1930(昭和5)	紙、彩色
資料	小村雪岱	(なでしこ)(『処女の友』表紙原画 第13巻第7号か)	1930(昭和5)か	紙、彩色
資料	小村雪岱	露涼し(『処女の友』第13巻第8号表紙原画)	1930(昭和5)	紙、彩色
資料	小村雪岱	花園新秋(『処女の友』第13巻第9号表紙原画)	1930(昭和5)	紙、彩色
資料	小村雪岱	秋なかば(『処女の友』第13巻第10号表紙原画)	1930(昭和5)	紙、彩色
資料	小村雪岱	山茶花咲く(『処女の友』第13巻第12号表紙原画)	1930(昭和5)	紙、彩色
資料	小村雪岱	花は明るく(『処女の友』第14巻第2号表紙原画)	1931(昭和6)	紙、彩色
資料	小村雪岱	春の小禽(『処女の友』第14巻第3号表紙原画)	1931(昭和6)	紙、彩色
資料	小村雪岱	罌粟咲く(『処女の友』第14巻第6号表紙原画)	1931(昭和6)	紙、彩色
資料	小村雪岱	秋ざくら(『処女の友』第14巻第10号表紙原画)	1931(昭和6)	紙、彩色
資料	小村雪岱	田中貢太郎「旋風時代」第219回挿絵下図	1930(昭和5)	紙、鉛筆、墨、朱墨
資料	小村雪岱	田中貢太郎「旋風時代」第229回挿絵下図	1930(昭和5)	紙、鉛筆、墨、朱墨
資料	小村雪岱	田中貢太郎「旋風時代」第238回挿絵下図	1930(昭和5)	紙、鉛筆、墨、朱墨
資料	小村雪岱	田中貢太郎「旋風時代」第240回挿絵下図	1930(昭和5)	紙、鉛筆、墨、朱墨
資料	小村雪岱	わかもと京団扇 新月	1939(昭和14)	紙、木版

資料	小村雪岱	わかもと京団扇 もみぢ	1939(昭和 14)	紙、木版
資料	小村雪岱	わかもと京団扇 星月夜	1940(昭和 15)	紙、木版
資料	小村雪岱	わかもと京団扇 そよ風	1940(昭和 15)	紙、木版

■刊行物

●刊行物

- (1) 展覧会図録『小江戸文化シリーズ』6 勝田蕉琴展』
- (2) 展覧会図録『〈タッチアート〉その後の彫刻』4人展 一原透、佐藤忠、高梨裕理、塩谷良太』
- (3) 『川越市立美術館令和6年度年報・研究紀要』
- (4) 令和8年度展示案内
- (5) 2026川越市立美術館 ハロー！ミュージアム

■美術館施設利用

◆市民ギャラリー

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用可能日数	292日	297日	300日	300日	298日
利用日数	275日	267日	279日	275日	198日
利用率	94.18%	89.90%	93.00%	91.67%	66.44%
利用者数	22,640人	24,512人	24,536人	23,933人	18,219人

*令和7年度は壁修繕により7日貸し出し禁止とした

◆創作室

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用可能コマ数	893コマ	869コマ	880コマ	900コマ	785コマ
利用コマ数	268コマ	295コマ	269コマ	276コマ	247コマ
利用率	30.01%	33.95%	30.57%	30.67%	31.46%
利用者数	1,609人	1,795人	1,591人	1,602人	1,463人

*令和7年度はトイレ修繕により4コマ貸し出し禁止とした

■美術館運営管理

◆審議会等

川越市立美術館協議会(美術館の運営について審議)

→ 2回開催(5月30日(金)、2月20日(金))

川越市立美術館美術品等選考評価委員会(作品の収蔵の可否について審議)

→ 1回開催(12月3日(水))

川越市立美術館利用研究委員会(美術館と学校利用について審議)

→ 3回開催(7月3日(木)、11月21日(金)、2月19日(木))

◆維持管理等

●修繕

本館

市民ギャラリー壁穴補修・塗装修繕

2階客用トイレ系統排気ファン交換修繕

受付脇柱のクロス張替え修繕 等

空調 収蔵庫系統空調機ケミカルフィルター交換修繕

収蔵庫系統冷水ポンプ交換修繕

ガスヒートポンプエアコン修繕

創作棟 多目的トイレ便器取替修繕 等

屋外 屋外館名表示の張替え修繕 等

川越市立美術館データ表

資料2

(R8.3.31現在)

年・月	総利用者数	観覧者(人)								観覧以外の利用者(人)							外国人	備考
		観覧者合計	常設展	特別展	有料	無料	有料率	日数	人/日	ギャラリー	日数	創作室	件数	ホール	日数	その他		
平成14年度	29,528	27,418	14,104	13,314	11,163	16,255	41	93	295	1,271	18	147	11	692	14	0	0	
平成15年度	95,531	63,274	38,669	24,605	23,534	39,740	37	285	222	22,242	150	1,009	72	9,006	60	0	0	
平成16年度	79,342	50,853	32,653	18,200	20,241	30,612	40	290	175	22,041	205	1,756	130	4,692	66	0	0	
平成17年度	82,177	50,893	31,131	19,762	19,968	30,925	39	291	175	25,035	212	2,471	203	3,778	32	0	0	
平成18年度	95,769	53,704	34,457	19,247	21,378	32,326	40	284	189	27,090	212	2,144	199	7,985	47	4,846	48	
平成19年度	104,563	69,508	43,887	25,621	27,961	41,547	40	298	233	26,033	217	2,466	221	1,987	45	4,569	54	
平成20年度	127,793	84,357	48,875	35,482	29,934	54,423	35	297	284	35,782	263	2,530	210	5,124	88	0	0	
平成21年度	113,008	69,067	42,333	26,734	26,246	42,821	38	295	234	32,181	231	2,360	219	9,400	61	0	0	
平成22年度	87,087	56,876	35,323	21,553	21,676	35,200	38	298	191	25,022	225	2,554	262	2,635	59	0	0	
平成23年度	96,046	64,154	36,044	28,110	21,893	42,261	34	300	214	24,881	194	3,107	258	3,904	86	0	0	
平成24年度	112,243	67,700	38,135	29,565	20,419	47,281	30	297	228	31,319	240	4,176	261	9,048	85	0	0	
平成25年度	103,848	63,399	36,693	26,706	21,754	41,645	34	295	215	29,178	235	3,586	278	5,809	76	1,876	29	
平成26年度	108,375	67,652	38,934	28,718	24,593	43,059	36	297	228	27,280	227	3,299	290	10,144	103	0	0	
平成27年度	97,104	56,922	33,269	23,653	20,266	36,656	36	298	191	30,885	243	2,386	240	6,911	89	0	0	
平成28年度	116,170	69,736	41,917	27,819	25,831	43,905	37	296	236	33,598	263	2,982	272	9,854	167	0	0	878
平成29年度	119,852	70,903	41,431	29,472	28,312	42,591	40	297	239	37,010	269	3,885	278	8,054	121	0	0	1,224
平成30年度	135,626	87,989	50,219	37,770	33,973	54,016	39	299	294	37,471	279	3,971	342	6,195	122	0	0	1,563
令和元年度	100,320	58,545	35,349	23,196	23,393	35,152	40	274	214	31,459	252	3,610	360	6,706	112	0	0	1,326
令和2年度	21,313	9,133	9,133	0	6,032	3,101	66	163	56	9,071	138	995	171	0	0	2,114	24	295
令和3年度	71,133	40,989	28,915	12,074	17,276	23,713	42	298	138	18,219	198	1,463	247	8,101	45	2,361	30	381
令和4年度	63,948	34,856	26,594	8,262	14,818	20,038	43	300	116	23,933	275	1,602	276	2,382	68	1,175	18	789
令和5年度	67,101	37,212	27,661	9,551	17,059	20,153	46	300	124	24,536	279	1,591	269	2,703	109	1,059	18	1,520
令和6年 4月	3,713	1,365	1,365	0	1,072	293	79	25	55	2,107	19	163	25	78	9	0	0	114
令和6年 5月	4,270	1,970	1,970	0	1,498	472	76	27	73	2,098	27	140	19	62	4	0	0	213
令和6年 6月	3,747	2,104	2,104	0	1,003	1,101	48	20	105	1,516	20	127	18	0	5	0	0	147
令和6年 7月	4,819	3,514	2,360	1,154	1,381	2,133	39	26	135	989	25	122	24	194	6	0	0	197
令和6年 8月	9,029	6,033	3,450	2,583	2,308	3,725	38	27	223	2,283	27	236	30	477	27	0	0	188
令和6年 9月	4,986	3,647	3,092	555	1,472	2,175	40	24	152	1,087	24	135	31	117	24	0	0	217
令和6年 10月	8,219	3,654	3,175	479	1,428	2,226	39	27	135	4,296	25	165	24	104	14	0	0	165
令和6年 11月	10,595	8,507	4,633	3,874	2,686	5,821	32	26	327	1,765	23	171	25	152	4	0	0	164
令和6年 12月	8,735	4,849	2,893	1,956	1,216	3,633	25	22	220	3,041	19	107	20	738	12	0	0	134
令和7年 1月	3,717	1,777	1,777	0	1,300	477	73	24	74	1,233	24	151	19	556	24	0	0	136
令和7年 2月	7,134	1,805	1,805	0	1,384	421	77	24	75	2,099	21	141	37	1,365	24	1,724	11	161
令和7年 3月	5,435	1,604	1,604	0	1,277	327	80	25	64	1,998	25	137	23	363	21	1,333	18	155
令和6年度	74,399	40,829	30,228	10,601	18,025	22,804	44	297	137	24,512	279	1,795	295	4,206	174	3,057	29	1,991
令和7年 4月	3,805	1,556	1,556	0	1,298	258	83	26	60	2,057	23	117	22	75	10	0	0	162
令和7年 5月	3,869	1,752	1,752	0	1,414	338	81	27	65	1,827	23	81	15	209	11	0	0	170
令和7年 6月	4,713	2,889	2,889	0	983	1,906	34	19	152	1,476	23	154	23	194	6	0	0	139
令和7年 7月	3,886	1,965	1,965	0	1,094	871	56	27	73	1,146	27	107	18	668	27	0	0	176
令和7年 8月	8,660	2,560	2,560	0	1,719	841	67	27	95	2,057	27	154	29	1,598	24	2,291	18	226
令和7年 9月	3,864	3,019	3,019	0	1,343	1,676	44	24	126	419	24	123	24	303	24	0	0	309
令和7年 10月	7,981	3,324	2,785	539	1,556	1,768	47	27	123	4,287	24	117	18	253	19	0	0	332
令和7年 11月	8,931	6,552	3,831	2,721	2,058	4,494	31	26	252	2,110	24	154	21	115	3	0	0	178
令和7年 12月	4,984	3,111	1,954	1,157	820	2,291	26	23	135	1,181	13	119	19	573	7	0	0	123
令和8年 1月	3,447	1,744	1,656	88	1,114	630	64	24	73	1,538	20	110	18	55	1	0	0	115
令和8年 2月	6,695	3,446	2,265	1,181	1,536	1,910	45	24	144	2,228	23	193	31	828	12	0	0	192
令和8年 3月	5,861	3,325	2,273	1,052	1,611	1,714	48	25	133	2,314	24	180	30	42	3	0	0	175
令和7年度	66,696	35,243	28,505	6,738	16,546	18,697	47	299	118	22,640	275	1,609	268	4,913	147	2,291	18	2,297
開館以降累計	2,168,972	1,331,212	824,459	506,753	512,291	818,921	38	6,741	197	622,689	5,379	57,494	5,632	134,229	1,976	23,348	268	12,264

外国人平均5.2人
外国人平均4.8人
外国人平均1.8人
外国人平均1.3人
外国人平均2.6人
外国人平均5.1人
外国人平均6.7人
外国人平均7.7人

*ババママカード:年間 880人
*着物の日:年間 156人
*ババママカード:年間333人
*着物の日:年間 0人

川越市立美術館特別展データ表(過去5年間)

資料3

開催年度	展覧会	会期	日数	観覧者						
				区分別			合計	1日平均	有料観覧者	有料率
				一般	学生	小中学生				
令和3	花村えい子と漫画	2021.8.7~9.12	32日	4,008人	211人	731人	4,950人	155人	3,145人	64%
	吉田博展	2021.10.23~11.28	32日	5,328人	296人	1,500人	7,124人	223人	3,475人	49%
	計		64日	9,336人	507人	2,231人	12,074人	189人	6,620人	55%
令和4	相原求一朗展アンコール	2022.7.16~9.4	44日	2,546人	143人	357人	3,046人	69人	1,812人	59%
	小茂田青樹展	2022.10.22~12.4	39日	4,270人	176人	770人	5,216人	134人	1,415人	27%
	計		83日	6,816人	319人	1,127人	8,262人	100人	3,227人	39%
令和5	杉浦非水の大切なもの	2023.7.8~9.3	51日	4,646人	207人	612人	5,465人	107人	3,557人	65%
	中村一美展	2023.10.21~12.10	44日	3,124人	185人	777人	4,086人	93人	952人	23%
	計		95日	7,770人	392人	1,389人	9,551人	101人	4,509人	47%
令和6	みて!! さわって!? かわごえのびじゅつ	2024.7.13~9.8	51日	2,385人	179人	1,728人	4,292人	84人	1,531人	36%
	江戸のお洒落装身具	2024.10.26~12.8	39日	5,360人	109人	840人	6,309人	162人	2,229人	35%
	計		90日	7,745人	288人	2,568人	10,601人	118人	3,760人	35%
令和7	勝田蕉琴展	2025.10.25~12.7	40日	3,452人	103人	862人	4,417人	110人	1,025人	23%
	その後の彫刻4人展	2026.1.31~3.22	45日	1,730人	125人	466人	2,321人	52人	810人	35%
	計		85日	5,182人	228人	1,328人	6,738人	79人	1,835人	27%
過去5年合計			417日	36,849人	1,734人	8,643人	47,226人	113人	19,951人	42%
開館以来合計			3,515日	378,075人	14,158人	114,520人	506,753人	144人	231,629人	46%
開館以来構成比				74.6%	2.8%	22.6%	100.0%			

※本表では、招待・優待・免除を一般の観覧者として数えています。